学校番号	Ｔ０２０４

令和３年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生物基礎 新訂版　（実教出版）						
副教材等	使用しない						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物とは何か。生物と石との違いは何か。石が生物ではないということはわかるけど、ではなぜ生物ではないのでしょう。答えがわかる当たり前のことでも、理由を正確に答えることは難しいものです。この授業では生物に共通する特徴を学び、どのように生物が生命活動を行っているかを勉強します。またヒトも生物のひとつです。後期の学習内容は、ヒトのからだのしくみに関する単元に入り、自分のからだがどのようなはたらきをしているかを学びます。生物の不思議、ヒトの不思議を楽しみながら、しっかりと学んでください。

２　学習の到達目標

・生物の共通性と多様性、細胞とエネルギーとの関係について理解する。
・遺伝子とそのはたらきについて理解する。
・体内環境を維持するしくみについて理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について感心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査	授業態度 ノート・ワークシート・実験レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td rowspan="2">生物の特徴</td><td>生物の多様性と共通性</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="2">a：生物の特徴について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。
b：生物の特徴について問題を見出し、科学的に思考・判断し、導き出した考えを表現している。
c：生物の特徴に関する実験・観察を行い、それらを探求する方法を習得するとともに、過程や結果を的確に記録・整理している。
d：生物の特徴について理解し、知識を身につけている。</td><td rowspan="2">授業態度
ノート・ワークシート
実験レポート
定期考査</td></tr>
<tr><td>細胞とエネルギー</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">遺伝子とその働き</td><td>遺伝情報とＤＮＡ</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a：遺伝子とその働きについて関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。
b：遺伝子とその働きについて問題を見出し、科学的に思考・判断し、導き出した考えを表現している。
c：遺伝子とその働きに関する実験・観察を行い、それらを探求する方法を習得するとともに、過程や結果を的確に記録・整理している。
d：遺伝子とその働きについて理解し、知識を身につけている。</td><td rowspan="3">授業態度
ノート・ワークシート
実験レポート
定期考査</td></tr>
<tr><td>遺伝情報の分配</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>遺伝情報とタンパク質の合成</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	生物の体内環境とその維持	体内環境	○		○		a：生物の体内環境とその維持について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b：生物の体内環境とその維持について問題を見出し、科学的に思考・判断し、導き出した考えを表現している。 c：生物の体内環境とその維持に関する実験・観察を行い、それらを探求する方法を習得するとともに、過程や結果を的確に記録・整理している。 d：生物の体内環境とその維持について理解し、知識を身につけている。	授業態度 ノート・ワークシート 実験レポート 定期考査
		体内環境の維持のしくみ		○		○		
		免疫	○			○		
	生物の多様性と生態系	植生と遷移	○			○	a：生物の多様性と生態系について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b：生物の多様性と生態系について問題を見出し、科学的に思考・判断し、導き出した考えを表現している。 c：生物の多様性と生態系に関する実験・観察を行い、それらを探求する方法を習得するとともに、過程や結果を的確に記録・整理している。 d：生物の多様性と生態系について理解し、知識を身につけている。	授業態度 ノート・ワークシート 実験レポート 定期考査
		気候とバイオーム		○		○		
		生態系と物質循環	○		○			
		生態系のバランスと保全	○	○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。